

新副町長が誕生

～完全復興へ向けてタスキをつなぐ～

向井康彦氏むかいやすひこが任期を終え退任、後任に濱田義之氏はまだよしゆき

向井康彦副町長が、平成29年3月1日の就任から4年の任期を終え、退任されました。

後任には、2月16日に開かれた第2回町議会臨時会で、町執行部から提案された副町長の選任に関する議案が全会一致で同意された濱田義之氏が、3月1日から就任します。

就任のごあいさつ

益城町副町長 濱田義之

町議会の同意を得て、3月1日に副町長に就任しました濱田義之です。どうぞよろしくお願いいたします。

熊本地震からまもなく5年になります。当時私は、県の農林水産担当部長として復旧・復興の業務に当たっており、益城町の現場を訪れるたびに、道路や橋、住宅などの壊滅的ともいえる状況を目の当たりにしてきました。回復には、かなりの時間と労力がかかるというのが率直な見立てでした。しかし今、町は予想をはるかに超えるスピードで復興しています。真新しい店舗や住宅が建ち、町の施設も新しくなり、あちこちで道路の工事が進められ、活用を待つ整地済みの空き地が目立ちます。新しいまちが生まれる胎動を実感できます。もちろん全ての皆さまが地震前の住環境や生活を取り戻せたとは思えませんが、あの悲惨な経験をいつの日か乗り越えることができ、「あの地震が町発展の転換点になった」と、みんなが思うことができる日が来れば、その時が復興のゴールだと思っています。自分のライフワークとしても、この仕事に全力を傾けます。

そして今、新型コロナウイルスの黒い影が町中を覆っています。ウィズコロナ時代を生き抜くため、感染防止の努力が求められ、地域や家庭でのさまざまな活動も制約を受けています。息苦しさを覚えたり、感染の不安に駆られる人も多いのではないのでしょうか。しかし、人類は英知を結集して、今この瞬間もコロナと闘い続けています。ワクチン接種をはじめ、きつと克服する日が来るはずですよ。その日まで力を合わせて共に頑張ろうと思っています。

もとより微力ですが、現場感覚とコミュニケーションと笑顔を忘れずに、一つ一つの課題と真摯に向き合い、益城町の発展に貢献できるよう全力を尽くしてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。